

昭和62年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(五十音順)

[個 人]

梅木 隆 (大分県玖珠郡玖珠町)
澤口 新太郎 (宮城県玉造郡岩出山町)
三浦 晋 (兵庫県神戸市)
山本 仁 (高知県高知市)

[団 体]

鹿妻穴堰土地改良区 (岩手県盛岡市)
桐生市みどりと花の会 (群馬県桐生市)
財団法人天神崎の自然を大切にする会 (和歌山県田辺市)
社団法人大津青年会議所 (滋賀県大津市)
上越市花と緑のまちづくり協議会 (新潟県上越市)
玉川村老人クラブ連合会 (福島県石川郡玉川村)
玉原緑化少年団 (岡山県玉野市)
日清紡績株式会社 美合工場 (愛知県岡崎市)
藤沢市みどりいっぱい市民の会 (神奈川県藤沢市)
富士通株式会社 明石工場 (兵庫県明石市)
八代に桜を植える会 (熊本県八代市)
山形市農協城南農民組合婦人部 (山形県山形市)

[学 校]

旭町立築羽小学校 (愛知県東加茂郡旭町)
江刺市立田原中学校 (岩手県江刺市)
熊本市立託麻原小学校 (熊本県熊本市)
那珂町立第三中学校 (茨城県那珂郡那珂町)

[地方公共団体]

栗野町 (栃木県上都賀郡栗野町)
宇部市 (山口県宇部市)
神戸市 (兵庫県神戸市)
徳山市 (山口県徳山市)
日南町 (鳥取県日野郡日南町)

[個人]

氏名	<p>うめき たかし 梅木 隆</p>
住所	<p>大分県玖珠郡玖珠町</p>
功績の概要	<p>氏は、長年にわたる林業経営で培われた技術と「やる気（木）が無ければ、いい木（気）は出来ない」との信念に基づき、地元の高等学校生徒や子供会グループの森林づくりの指導を通し、青少年の緑化意識の高揚に尽力している。</p> <p>また、「育林を通して社会に恩返しをする」との考えから、昭和32年に自己所有林内に見本林を設定し、森林づくりの現地指導に取り組み、地域はもとより県下全域にわたる育林技術の向上に力を注ぐとともに、昭和53年からは県指導林家として林業後継者の育成指導に努めるなど、常に地域における森林づくりの陣頭に立って緑化の推進に尽力しており、その功績は極めて大きいものがある。</p>

[個人]

氏名	<p>さわぐち しんたろう 澤口 新太郎</p>
住所	<p>宮城県玉造郡岩出山町</p>
功績の概要	<p>氏は、長年にわたり育ててきた自己所有林を森林づくりの現地研修の場として活用し、研修回数は年間40回、受講者数も年間延べ約600人に及ぶなど、森林づくりの普及指導に多大の貢献をしている。</p> <p>また、長年にわたる林業経営で培われた豊富な知識と経験をもとに、幅広い講演活動を行い、国土緑化の精神と技術の普及指導に努め、さらには県指導林家として林業後継者の指導育成に努めるなど、その旺盛な実践力と卓越した指導力により地域に根ざした森林づくりを通じ、緑化の推進に尽力しており、その功績は極めて大きいものがある。</p>

[個人]

氏名	<p>みうら すすむ 三浦 晋</p>
住所	<p>兵庫県神戸市</p>
功績の概要	<p>氏は、花壇用苗生産の専門経営のかたわら、花の専門家として、明石公園緑の相談室相談員や農村地域の婦人会、老人大学、熟年者の生きがい講座等の講師として地域の緑化意識の啓発と高揚に精力的に努めるとともに、花壇用苗を老人ホーム、身体障害者施設、幼稚園、学校等に寄贈するなど明るい福祉施設づくりや青少年の情操教育に尽力している。</p> <p>さらに、兵庫県の「全県全土公園化構想」の委員として、県土の緑化に貢献するなど、こうした氏の緑化活動の高揚に対する功績は、極めて高く評価されるものである。</p>

[個人]

氏名	<p>やまもと まさし 山本 仁</p>
住所	<p>高知県高知市</p>
功績の概要	<p>氏は、「樹を植える前に、先ず人を植えよ」との信念に基づき、昭和47年から毎春、地元小学校に1,000本の苗木を贈呈するとともに、「緑の一日先生」として野外活動の指導にあたるなど、児童の情操教育、地域住民の緑化意識の高揚に尽力している。</p> <p>また、長年にわたる林業経営で培われた豊富な知識と経験をもとに、昭和36年、自ら育てた森林内に46haの展示林を設置し、以来今日まで森林づくりの研修の場として活用するなど、地域はもとより県内における森林づくりの指導者として緑化の推進に尽力しており、その功績は極めて大きいものがある。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かづまあなぜきとちかいりょうく 鹿妻穴堰土地改良区</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県盛岡市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 藤原 哲夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同土地改良区は、昭和2年に前身である鹿妻穴堰普通水利組合が策定した雫石川上流域における1,000haの水源かん養林の造成計画に基づき、山林の取得、針葉樹の計画的植栽、保安林の指定のための努力等を精力的に行い、その結果、山林233haを取得するとともに、同山林のほか国有農地等で取得のできない山林を含め1,268haの山林が水源かん養保安林の指定を受けるに至っている。</p> <p>さらに、流域住民と協力して、今日まで毎年度重点事業として、森林の育成、水源かん養林の保全等に努め、この地域における緑資源の永続保全等に尽力しており、模範的な森林緑化を達成している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>きりゅうし はな かい 桐生市みどりと花の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>群馬県桐生市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 小池 久雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>本会は、昭和51年10月以来、市民参加を基調とし、緑化思想の普及、啓蒙に努めるとともに、環境保全巡視、育苗事業を積極的に行い、緑化基金を発足させ、全日本花いっぱい桐生大会を開催する等の事業を実施している。</p> <p>また、昭和61年度から桐生自然観察の森事業をスタートさせ、さらに、昭和62年度においては希少植物の保護増殖を中心とした同事業の推進、自然緑地保護地区、保存樹の調査研究、花壇造成植栽事業等の実施、緑の少年団育成およびグリーンフラワーバンクの運営管理事業等の諸事業を推進し、自然環境の保全と地域緑化の推進に多大な貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p style="text-align: center;">てんじんざき しぜん たいせつ かい 財団法人 天神崎の自然を大切にする会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>和歌山県田辺市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 多屋 好一郎</p>
<p>功績の概要</p>	<p>本会は、昭和49年に野外教育の場等として地元住民に親しまれてきた天神崎の自然を保全することを目的に設立され、それ以来、3万人を超える参加者の協力により2億円以上の寄附金を得て、昭和60年11月までに4.1haの森林等の土地を買い上げて管理するとともに、自然観察会を催して自然や緑の重要性についての普及啓発に努めている。</p> <p>本会の活動は、我が国のナショナル・トラスト活動の先駆として、国民の手による自然環境の保全活動を促進するとともに、緑資源の確保の面からも緑化の推進に多大な貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p style="text-align: center;">おおつせいねんかいぎしょ 社団法人 大津青年会議所</p>
<p>所 在 地</p>	<p>滋賀県大津市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>理事長 藪本 俊作</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同青年会議所は、昭和51年度に西暦2000年を目指した「みどり25運動」を開始し、水とみどりに恵まれた自然環境の創造を目指してきた。</p> <p>この「みどり25運動」の実践にあたっては、各学区単位に「みどりを愛する会」を結成し、小学校向けの小冊子の発行・配布、各学年毎のみどりのカリキュラムの作成とその実施、近隣の由緒ある樹木等の保存活動等、学校や地域住民の参加協力を得たユニークな活動を精力的に行っている。</p> <p>同青年会議所は、この「みどりを愛する会」の活動等を通じて、緑豊かな街づくりを推進する地域活動を定着させたことは高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>じょうえつしはな みどり きょうぎかい 上越市花と緑のまちづくり協議会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>新潟県上越市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 清水 貞彦</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同協議会は、昭和50年に市民総ぐるみで花と緑のまちづくりを推進する目的で設立された。</p> <p>以来、今日まで市民への草木苗の無償配布、民間施設への大型プランターの貸与・設置、余剰樹木を活用した「緑の銀行」の実施、緑化思想普及のためのパンフレットの作成・配布、優良花壇の表彰、新築家庭への記念樹の贈呈、市内の名木巨木・分布上貴重な樹木等の調査研究等の地域のコミュニティと密接に結びついた緑化活動を実施してきた。</p> <p>このような活動により、市民の緑化意識の啓発、緑化の推進に果たした功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>たまかわむらろうじん れんごうかい 玉川村老人クラブ連合会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県石川郡玉川村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>連合会長 矢吹 精助</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同連合会は、昭和38年に玉川村各部落単位の老人会の連合体として結成され、地域の各種奉仕活動を行ってきたが、昭和52年度から村内を花で飾り、明るい村作りに貢献したいとの声が会員の高まり、花いっぱい運動を連合体の事業として取り入れた。</p> <p>以来、10年間にわたり、国道118号をはじめとする道路に花壇等を整備・管理し、四季を通じ花いっぱいの沿線となっている。</p> <p>近年では、この運動は婦人会、子供会に広がり、地域ぐるみの運動となり、道路沿線から公民館、学校へと全村に活動が広がっており、本老人会の功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>たまはら 玉原緑化少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岡山県玉野市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>団 長 島川 章信</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、昭和52年団結成以来、「自分たちのふるさと自分たちの手で築こう」を合言葉に地域住民と一体となった緑化活動を続けている。</p> <p>特に、団結成当初から山火事跡地に6haの「小鳥の森」の整備を行い、今日までに2,000本を超える植樹を行うとともに、昭和53年からは苗木づくりに取り組み、自ら育てた苗木で地元小学校等に植樹を行うなど、地域の緑化に努めている。</p> <p>また、山火事多発地域である郷土の緑を守るため、昭和54年から山火事防止運動に取り組み、手づくりポスター・看板の掲示を行うなど、地域に根ざした幅広い活動を通じて緑化の推進に多大の貢献をしており、その功績は極めて大きい。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>にしんぼうせき みあいこうじょう 日清紡績株式会社 美合工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県岡崎市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>工場長 中村 克美</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、地域から愛される工場づくりを基本方針として「公園の中の工場」を目標に積極的な緑化事業を展開している。</p> <p>特に、工場内に「緑化整備推進委員会」を設置して、緑化に関する企画立案を行い、全従業員の参加による手づくりの緑化を推進しており、構内の緑化はもとより、敷地境界部に大規模な緩衝緑地帯や桜並木を整備するなど周辺環境との調和にきめ細やかな努力を行っている。</p> <p>また、近隣の小・中学校に対する構内で育成した苗木、樹木の寄贈、その植込作業の奉仕活動及び構内の緑地の地域住民への開放等を通じて緑豊かな地域づくりに多大の貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ふじさわし しみん かい 藤沢市みどりいっぱい市民の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>神奈川県藤沢市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 二見 幸雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和52年に都市化の進展により、自然が失われつつあった藤沢市において、現在残されている緑を守り、失われた自然を回復することを目的として設立された。</p> <p>以来、今日に至るまで公共施設においての植樹、各種緑化パンフレットの作成配布、花の種配布、講演会、映画会の開催等広く市民が参加する緑化活動を展開している。</p> <p>このような活動により、市民の緑化への関心が年々高くなっており、緑化に関する思想の普及啓発を含む緑化推進に果たした功績は、高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ふじつう あかしこうじょう 富士通株式会社 明石工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>兵庫県明石市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>工場長 高井 昭二</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、知識集約型工場にふさわしい工場環境の整備と工場周辺の地域生活環境との調和を基本方針として、緑による地域と工場の融和と交流を目指した「緑のネットワークづくり」を提唱し、開放的な工場緑化を進めている。特に、敷地境界沿いについては、コンクリート塀から開放的な緑地帯への改造、住宅地との緩衝樹林、1 km近くに及ぶ桜並木の整備等地域に融和した緑地形成に努めており、緑地面積も相当規模増えつつある。</p> <p>また、県等が行う緑化推進事業に対する工場緑化のモデル工場としての協力、緑の中のスポーツ施設の住民への開放等を通じて地域の緑化意識の啓発、緑豊かな地域づくりに多大の貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>やっしろ さくら う かい 八代に桜を植える会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県八代市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 服部 実</p>
<p>功績の概要</p>	<p>本会は、八代市郡地域を主として桜を植えることによって、ふるさと八代の自然と緑を取り戻すことを目的として、昭和50年11月発足し、これまで多くの桜を植栽し、その育成を図ってきている。</p> <p>現在は、第3次5ヵ年計画に基づき、各地域の植栽行事を行っているが、昭和62年以降は、八代市の古麓地区、八代郡宮原町の桜丘公園及び芳野公園を名実共に八代地方の桜の三大名所とするべく植栽事業を積極的に推進することとしており、緑に親しむ心を育て、住民参加の終わりのなき教育活動を推進する等地域緑化の推進に多大な貢献をしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>やまがたしのうきょうじょうなんのうみんくみあいふじんぶ 山形市農協城南農民組合婦人部</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山形県山形市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>部 長 結城 正子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同婦人会は、昭和27年に婦人の教養、地位向上を図るとともに、地域に奉仕する目的で創立された。</p> <p>この活動の一環として、市内の街路樹の管理を自主的に行い、昭和47年からは、市道に数千本の菊花を植栽、管理を行い、現在は菊があふれる美しい沿線となっている。</p> <p>近年は、この婦人会の活動に触発され、老人会、子供会も力を合わせ活動をするとともに、各家庭、学校等に花壇を設置するなど地域ぐるみで緑豊かな街づくりを推進している。</p> <p>このように、緑化に対する関心を広めた息の長い緑化活動は高く評価されるものである。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>あさひちょうりつつくばしょうがっこう 旭 町 立 築 羽 小 学 校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県東加茂郡旭町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 鈴木 治夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、“伸びよ緑と築羽っ子”を合言葉に、昭和15年に設定された学校林を中心に、児童と学区民の手による森林や緑を育てる活動を親子三代にわたって続けている。</p> <p>特に、「緑のダム築羽から緑を贈ろう」と、昭和53年から毎年2,000本のスギ苗を養成し、育てた苗木を各地の小中学校や公共施設等に寄贈するなど、緑の輪を広げる運動を展開し、その範囲は広く県外に及ぶなど、多大の成果を上げている。</p> <p>また、東海自然歩道のパトロール等地域の環境美化活動に努めるなど、地域はもとより広範囲にわたる同校の緑の運動は高く評価されており、地域緑化の推進に果たした功績は極めて大である。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>えさししりつたわらちゅうがっこう 江刺市立田原中学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県江刺市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 大浪 昭</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和24年に学校林を設置して以来、「育て、つくり、なしとげる喜びの体得」のスローガンの下に30数年にわたり、森林づくりを中心に地域に密着した緑化活動に取り組み、今日に至っている。</p> <p>特に、教職員、全校生徒のみならず学区民までが参加して約8 ha、33,000本の植林・保育活動を進め、地域における模範的森林を造成するとともに、全校生徒による「愛鳥の森」の整備、緑化ポスターの作成等により緑化の普及啓蒙に努めるなど、長年にわたり連綿と続けてきた同校の学校林活動は、今日、地域ぐるみの緑化活動として定着しており、その波及効果は極めて大きいものがある。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>くまもとしりつたくまはらしょうがっこう 熊本市立託麻原小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県熊本市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 勝木 慶吾</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、「みどりの教育」を学校の教育目標の中核として位置付け、緑化学習栽培製作学習、愛鳥活動、みどりの日活動などを通して、生徒一人ひとりにやさしさを思いやり、根気強さを養うとともに、生命を尊重する心の育成を図っている。</p> <p>これらの総合的な緑化教育が組織的に行われるなかで、地域、PTAとも一体となった地域環境緑化の推進にも努め、児童が育てた苗木の公園等への植栽、地域の公共施設や新設学校等への配布など地域社会での緑化推進に多大の貢献をしていることは高く評価される。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>なかちょうりつだいさんちゅうがこう 那珂町立第三中学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>茨城県那珂郡那珂町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 清水 潔</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、創立以来環境緑化活動を中心とする勤労生産的学習を計画的に推進し、フラワーロードや花壇づくり、一人一鉢菊作りなどの活動を通じて、生徒相互の望ましい人間関係を深め、勤労の喜びや尊さ、忍耐心、思いやりの心の育成を図っている。</p> <p>こうした学校環境緑化活動を通じて、生徒の緑化に対する関心が高まり、学校周辺の路側帯に花を植栽するフラワーロードづくり、近隣の中学校等への菊の苗の配布など地域の環境緑化の活動も積極的に実施し、地域社会の緑化推進に多大の貢献をしていることは高く評価される。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>あわのまち 栗野町</p>
<p>所在地</p>	<p>栃木県上都賀郡栗野町</p>
<p>代表者</p>	<p>町 長 松本 孜</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、過疎化・高齢化が進行する厳しい状況の中で、町面積の86%を占める森林資源を活用して自然・緑を通じた山村と都市との交流の輪を広げている。</p> <p>特に、都市住民に緑のオーナーとしての夢を与え、心のふる里となる場を提供することをねらいとした「ふるさとの森」づくりを推進し、1都6県に及ぶ広い範囲からの都市住民参加の下に計画的な森林づくりを行っている。</p> <p>また、「あわの自然学園」を開設し、都市部の児童の体験学習の場として活用するなど、そのユニークで幅広い活動を通じて国民参加の森林づくりの普及促進に多大の貢献をしている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>うべし 宇部市</p>
<p>所在地</p>	<p>山口県宇部市</p>
<p>代表者</p>	<p>市長 二木 秀夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、昭和30年代当初から「緑豊かな住みよい街づくり」を目標に街路樹、公園の整備とともに市民と一体となった「花いっぱい運動」を推進してきた。</p> <p>特に、街並みの景観の向上を図るため街路樹の自然樹形仕立てを確立するとともに歩道の透水性舗装、植樹枠の拡大を昭和35年から実施し、緑豊かな街並みが全市的に見ることができる。</p> <p>また、彫刻の公園への設置等特色ある公園づくりをするとともに、50回を数える「花壇コンクール」を始めとして市民と一体となった「花いっぱい運動」を推進するなど、都市緑化の先駆的な事例として全国地方公共団体の範となっており高く評価できるものである。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>こうべし 神戸市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>兵庫県神戸市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 宮崎 辰雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、荒廃した六甲山系の砂防工事と一体となった森林の積極的な育成、保護を明治36年から今日まで実施してきたところである。</p> <p>特に近年は、六甲山自治会との間の「あじさい協定」や「六甲山緑化基金」の設置による緑化事業等市民と一体の緑化活動を進めている。</p> <p>このような住民参加の緑化活動の盛り上がりの中、昭和60年に市と市民が一体となって取り組んだコウベグリーンエキスポ'85は、市民を中心に220万人の参加を得て、六甲山の緑化の歴史、緑化の必要性を市民に広く普及させるために大きな成果をもたらしており高く評価されるものである。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>とくやまし 徳山市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山口県徳山市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 小川 亮</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、「緑と文化と活力にみちた都市」を市の基本構想の目標とし、“花と緑のまちづくり”等の諸施策を市民総参加で推進している。特に、農業団体、老人クラブ等の協力を得て、公共施設や民有地に花を植え育てる運動や、自治会、学校等の活動を表彰する花壇コンクール等を市民と一体となって実施している。</p> <p>また、周南緑地をはじめとする広大な公園緑地の整備、市街地中心部の“緑と文化のプロムナード”の整備等のほか、全国初の企業との緑化協定により臨海部の工業地域と住宅地域との間に公害対策を兼ねた緩衝緑地を造成するなど、その広範な取組は、全国の地方公共団体の緑化運動の模範として高く評価される。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>にちなんちょう 日 南 町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>鳥取県日野郡日南町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 高橋 篤史</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、昭和50年度に土地78haを不在地主から買い取り、その土地について毎年8ha程度の森林の保育、手入れを行うとともに、昭和54、55年度に分収林155haについて、不在地主から地上権33分の20を取得し、造林、森林保育を続けている。</p> <p>また、苦しい財政の下で、1,000ha近い町有林について植栽・下刈り・枝打ち等の事業を行い、美林の造成に努めているほか、不動産業者がゴルフ場建設用地として購入し持っていた山林574haを昭和58年に買い戻し、その後は、主としてスギの造林、保育に努め、今日に至るまで毎年10haずつ拡大造林を進めている。</p> <p>以上のような緑資源の維持増大の努力は、高く評価されるものである。</p>